



# 能楽特別公演

能楽の解説「シテ(主役)と4つの和楽器の紹介」

能「雷電」馬野 正基

雷神となった道真を法性坊が、天満大自在天へと導く舞

狂言「蝸牛」野村小三郎

蝸牛を求めて藪へ分け入った金法師は、山伏に遭遇する

特別企画 寺尾三玄 能面展



平成22年  
4月24日(土)

平和市民公園能楽堂

開場：12時 開演：13時

■入場料

S席 8,000円 A席 7,000円

トキハ双葉会・トキハカード会員様は1000円引き  
(※ご購入の際双葉会会員証、又はトキハカードをご提示ください。)

■チケット販売 (3月18日(木)発売)

トキハ会館3Fプレイガイド/  
別府店1Fインフォメーション

■主催

能楽特別公演実行委員会

(NPO法人せんす  
(株)トキハ



■後援

大分市教育委員会・大分合同新聞社・NHK大分放送局・  
OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・  
エフエム大分・OCT大分ケーブルテレコム

■お問い合わせ

平和市民公園能楽堂  
TEL 097-551-5511

# 能楽特別公演

平成22年4月24日(土) 13時開演

1時 始

## 能楽の解説「シテ(主役)と4つの和楽器の紹介」

1時50分頃

## 和泉流 狂言「<sup>かぎゅう</sup>蝸牛」 (野村又三郎家独自の演出)

父親から、祖父の病気の妙薬としての蝸牛(かたつむり)を獲って来るよう命じられた金法師(かなぼうし=男児の称)が藪へやって来ると、大峰山・葛城山での修行を終えて出羽国へ帰国する途中の山伏に遭遇して…。

山伏 野村小三郎  
親 野口 隆行  
金法師 野村 信朗  
後見 伴野 俊彦

休憩 15分

2時30分頃

## 観世流 能「<sup>らいでん</sup>雷電」

比叡山延暦寺の座主(ざす)法性坊(ほっしょうぼう)は天下泰平を祈願している。

深夜、太宰府に流され、その地で死んだはずの菅原道真が師である法性坊のもとを訪れる。法性坊は打ち解け、語り合い、生きての再会であればどんなにか嬉しいことだろうと言う。

道真は回向に感謝する。しかし道真は言う。この世での望みが叶わなかったが、梵天帝釈天(ほんてんたいしゃくてん)の加護によって雷神となり、御所に落雷し、自分を左遷した貴族たちを殺すと。その折、御所から召されるであろうが決して参内しないようにと法性坊に願う。法性坊は答え、二度までの宣旨では参内しない。しかし勅使三度に及べば参内せざるを得ないと答える。

道真はにわかに形相が鬼と変じ、仏像に供えてあった柘榴(ざくろ)を取って噛み砕き、妻戸にかつと吐きかける。柘榴は火焰となって燃え上がる。

その時法性坊は沈着に酒水(しゅすい)の印を結び、火を消す。道真はその煙の中に紛れ消える。(中入)

はたして勅使が三度立ち、法性坊は紫宸殿(ししんでん)に出向き、祈念する。と、たちまちそれまで垂れ込めていた黒雲が晴れた。一瞬油断すると、雷神となった道真が現れた。法性坊は道真に鎮まるよう命じるが、師まで自分を見捨てたかと怒り、雷を激しく轟かせ、責め立てる。君子の命も危うくなる。しかし不思議にも雷は師のいる場所を避けて鳴る。雷神と僧正は行き違い廻り合い対決するが、法性坊が千手陀羅尼(せんじゅだらに)を読誦すると、たちまち雷神の威力も衰え、天満大自在天(てんまんだいじざいてん)の称号を帝から賜り、心を少し和らげ、黒雲にうち乗って消え去った。

天満大自在天として祀られた菅原道真は優れた詩人であり、特に左遷されて後の詩境は、諦念に満ちた日本の漢詩の達成である。

前シテ(管丞相) 馬野 正基  
後シテ(雷神) 福王 和幸  
ワキ(法性坊律師僧正) 永留 浩史  
ワキツレ(徒僧) 奥津健太郎  
アイ(能力) 斎藤 敦  
笛 飯富 章宏  
小鼓 井林 久登  
大鼓 大川 典良  
太鼓 森本 哲郎  
地謡 久保誠一郎  
井戸 良祐  
林本 大  
後見 谷村 育子  
山中 雅志

3時30分頃 終了

### 交通のごあんない

#### 大分バス(大分方面から)

- 花津留バス停・・・下車徒歩5分
- 芸術会館入口バス停・・・下車徒歩3分
- 牧バス停・・・下車徒歩2分

#### 大分バス(鶴崎方面から)

- 乗越バス停・・・下車徒歩5分

#### JR 日豊本線

- 牧駅・・・下車徒歩5分

